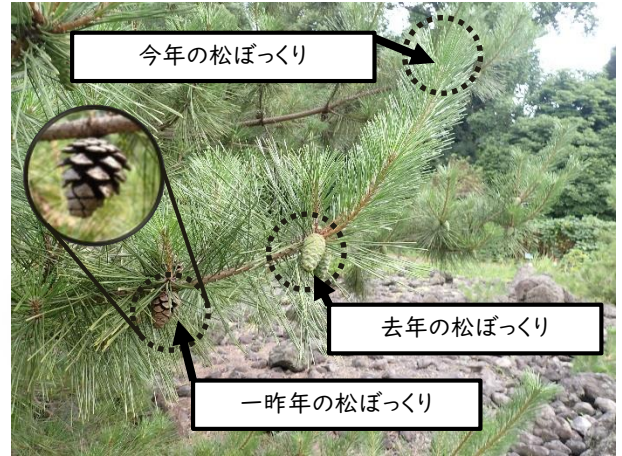


植物多様性センターの「松ぼっくりの成長」

伊豆諸島ゾーンにあるクロマツの松ぼっくりが大きくなってきました。成長中の松ぼっくりは瑞々しい果実のようにもみえますが、果実ではなく球果という器官で果肉はありません。マツの花は春に咲きますが、松ぼっくりが成熟するのは翌年の秋なので、今大きくなっているのは去年咲いた花のものになります。では今年の花のものはというと、枝の先にちょこんと小さな松ぼっくりが付いています。次々に咲く花たちに目を奪われがちですが、他の植物もどんどん成長していますね。



乾燥や潮風に強いので海岸沿いに多く生育する。



松ぼっくりは枝先に付くので、一年に伸びた枝の長さが分かる。



今年の花の松ぼっくり:大きさは約10mm。



去年の花の松ぼっくり:大きさは約50mm。